

## 令和2年度山口県肝疾患コーディネーター養成講習会開催報告

令和2年度11月15日(日)にANAクラウンプラザホテル宇部にて山口大学医学部附属病院 肝疾患センターと山口県の共催で、看護師・保健師・薬剤師・管理栄養士・医療ソーシャルワーカー・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士を対象とした、令和2年度山口県肝疾患コーディネーター養成講習会を開催しました。

### 講 義

① 肝炎医療コーディネーターの役割	山口大学 消化器内科学	日高 勲
② 肝炎ウイルス検査	山口県 健康増進課	磯部 元胤
③ 肝疾患に関する公的制度	山口県 健康増進課	古谷 正洋
④ C型肝炎	山口大学 消化器内科学	日高 勲
⑤ B型肝炎	山口大学 肝疾患センター	大野 高嗣
⑥ 脂肪肝	山口大学 臨床検査・腫瘍学	松本 俊彦
⑦ 門脈圧亢進症	山口大学 消化器内科学	松田 崇史
⑧ 肝癌	山口大学 消化器内科	田邊 規和

山口県健康福祉部健康増進課小林調整監、山口大学医学部附属病院肝疾患センター坂井田センター長による開講の挨拶後に上記の講義が行われました。

講義後テストを実施し、55名全員合格となり、新規の山口県肝疾患コーディネーターを育成できました。閉講式において、日高肝疾患センター副センター長より認定証が授与されました。

今年度はコロナ禍の中、大幅に募集定員を減らし、ソーシャルディスタンスを考慮した会場設営（マスクも配布）のもと、例年より時間短縮をした開催となりましたが、参加者は熱心に聴講していました。

近年、様々な職種からの申し込みが増える傾向にあり、大変嬉しい限りです。

今年度、定員を絞った関係により、受講できなかった方もいらっしゃると思いますが、ぜひ来年度のご参加を心よりお待ちしております。

《研修風景》ANAクラウンプラザホテル宇部

